

品目分類：茶，技術分類：流通・加工

深蒸し茶製造に活用できる蒸し度判定用カラースケール		情報分類	普及情報
〔要約〕生葉原料の色に応じた蒸葉の色を判定するカラースケールを作製した。これにより，深蒸し茶を製造するときの蒸し度が容易に判定できる。			
茶業部加工研究室		連絡先	0993-83-2811
普及対象地域等	県内荒茶工場	普及見込面積等	500工場

〔背景・ねらい〕

深蒸し茶製造における蒸熱工程は，荒茶の外観や水色，香味など，品質を左右する重要な工程であるが，その蒸し度は，蒸熱時間が同じでも生葉原料により変わるため，蒸機から排出される蒸葉の葉色変化で判定する必要がある。そこで，蒸葉の色を容易かつ客観的に判定するためのカラースケールを作製する。

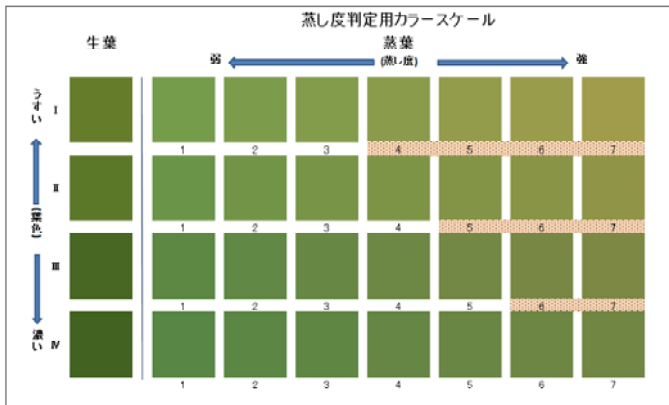
〔成果の内容・特徴〕

- 1 カラースケールは，生葉の色に応じて ～ の4種類からなり，蒸葉の色を蒸し度に応じて1～7段階の色票で表している(図1)。
- 2 使用法は，最初に生葉の上位3葉目表面の葉色に近似したカラースケールを ～ の中で選ぶ。次に，蒸機から排出された蒸葉を広げ速やかに冷却し，全面の葉色をカラースケールの蒸し度1～7で判定する。
- 3 人の評価によるカラースケール値は，実際の蒸葉の色相角度(色あい)や荒茶の色相角度と相関が高く，判定の適合性は高い(図2，図3)。

〔成果の活用面・留意点〕

- 1 カラースケールは，本県奨励品種10品種一番茶を熟度，被覆を変えた生葉原料と，それらを送带式蒸機で処理した蒸葉のデジタル画像を解析し作製した(濱崎ら，茶業研究報告96(別))。なお，適合性の確認には，「ゆたかみどり」，「やぶきた」，「おくみどり」の一番茶原料を，蒸熱条件を変えて供試した。
- 2 蒸葉は，表面水分の反射や凹凸による陰影をペーパータオル等で除くと葉色が見易くなる。
- 3 一定以上の蒸し度になると荒茶の色沢が赤みを帯びやすいため，これらのスケール値に網掛け表示してある。外観，水色で青みを残すには，網掛け表示まで蒸し度を強くしない。
- 4 本カラースケールは県茶生産協会で作成し，茶生産者等に配布される。

〔具体的なデータ〕



注) ~ のスケールは以下の生葉原料に対応している。  
 : 露地の早中期原料で葉色のうすいもの  
 : 露地の平均的な原料または被覆効果の少ない原料  
 : 被覆の平均的な原料または露地の遅摘みの原料  
 : 被覆の遅摘み原料で葉色の濃いもの

図1 作製した蒸し度判定用カラスケール

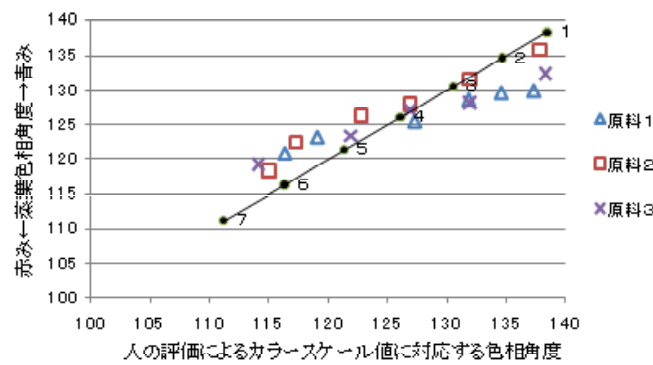


図2 異なる生葉原料で評価した蒸葉のカラスケール値と実際の色相角度との関係

注) X軸は5~10人で評価したスケール値(平均値)に対応する色相角度。斜線はスケール の値を示す。

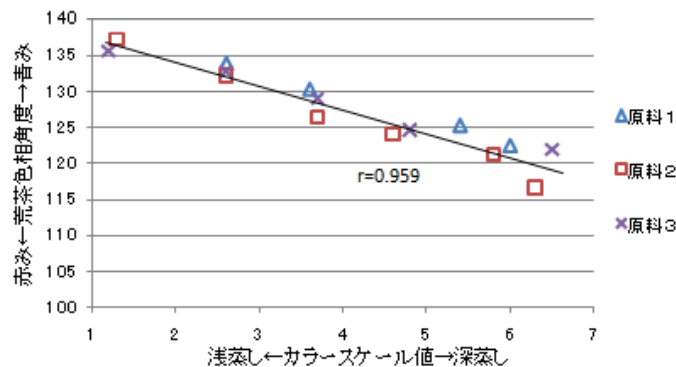


図3 蒸葉のカラスケール値と荒茶の色相角度との関係 (スケール )

〔その他〕

研究課題名：深蒸し茶の安定生産技術の開発

予算区分：特定

研究期間：平成22年度（平成19～21年度）

発表論文等：平成22年度 茶業研究報告109号（別冊）

平成19～22年度 農業開発総合センター茶業部試験成績書